



No.136

平成24年3月5日

議会広報

いえん

いえん No.136
議会広報
平成24年3月5日

発行／伊江村議会
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38
TEL:0980-49-2924
編集・印刷／(有)サンエス
TEL:098-889-7421



▲平成24年2月10日 24年間にわたり伊江村発展に重要な役割を果たした「フェリーいえしま」の最終航海

- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～6
- 議決と概要 平成23年第13回定例会・・・・・・・・・・・・・7
- 議決の結果 平成23年第10.11.12回臨時会・・・・・・・・・・・・・8
- 抗議決議 田中聡前沖縄防衛局長の発言に抗議・・・・・・・・・・・・・9
- 議会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

議会の活動

平成23年12月

- 5日：北部議長会理事会（議長）
たばこ振興会総会（副議長）
- 7日：黒糖工場落成式（議員）
議会広報委員会
議会運営委員会
- 8日：防衛協会北部支部忘年会（議長）
- 13～14日：12月定例議会
- 17日：第6回ハイビスカス祭り（議員）
- 26日：第6回小中学生ゴルフ全国大会（議員）



▲12月7日：
黒糖工場落成式



▲12月17日：第6回ハイビスカス祭り

平成24年1月

- 4日：新年交歓会（議員）
成人式（議員）
- 6日：消防出初め式（議員）
- 7日：第10回伊江島交流野球大会（議員）
- 11日：国・県出先機関との新年会（議長）
- 13日：JAやんばる新春の集い（議長）
- 15日：初セリ市（議員）
- 17日：健康づくり推進協議会（議長）
- 21日：商工会新年会・受賞祝賀会（議長）
- 24日：平成23年度（社）伊江島観光協会新年会（議長）



▲1月4日：
新年交歓会



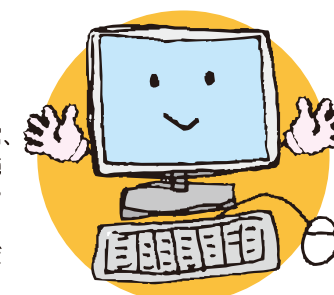
▲1月15日：初セリ市

平成24年2月

- 2日：全国小中学生ゴルフ伊江島大会実行委員会（議長）
- 7日：第3回伊江村防災会議（議長）
- 15日：第41回県町村議長会定期総会（議長）
第33回沖縄県介護保険広域連合議会全員協議会（名嘉議員）
- 16日：町村議会議員・事務局職員研修会（議員）
- 17日：離島関係18市町村議員及び職員研修会（議員）
- 18日：健康福祉祭り（議員）
- 19日：三氏合同祝賀会（議員）
（タイムス地域貢献賞／幸地常昌、農協人文化賞／謝花美義、新報短編小説賞／東江 建）
- 25日：JAファーマーズマーケットやんばる“伊江島特産品フェア”（副議長）
- 22日～26日：防衛省・農林省表敬及びフェリー引き渡し（議長）
- 28日：新造船フェリーいえしま祝賀会（議員）

議会中継 やっています！

役場庁舎1階、各区公民館、3学校など、村内の公共施設に設置されたパソコンやテレビで議会（定例会のみ）のライブ中継をご覧ください。



伊江村議会HPで 最新情報を！

この紙面に掲載された一般質問や質疑応答の内容は、会議録に基づいて一部を要約したものです。
さらに詳しく知りたい方は、各区公民館、中央公民館、村議会HPで会議録をご覧ください。



<http://www.iejima.org/iegikai/>
（伊江村のホームページからもアクセスできます。）

村政の12月定例会 一般質問

ここを問う!

全国和牛能力共進会等への
出品者に対する報償金制度の
創設について

農林水産課長／報奨金制度ではなく、
手当・謝礼等を支給していきたい

平成19年9月定
内議会の一一般質問で、

全共対策基金を作り、出
品者への報償金の支出、
畜産経営後継者の育成支
援策を強化してはどうかと質
問をした。その結果、村と
JAが一緒になり、基金を
作っていると思うが、今年度末
までの積立額はどの程度になっ
ているか。また、その運用予定
はどのように考えているか。

全共対策基金の積立
額は、平成19年度か
ら平成23年度までに115万
円。平成24年度も含めると
140万円になる。また、運
用予定としては、毎月1月
に全共伊江地区推進委員会を
設置したので、委員会で運用
方法を協議し大会に備えたい。



島袋 義範 議員



本村農業の大きな柱
である畜産業をより
発展させるためには、良い牛
をつくり育て、伊江島牛を全

全国的な高齢化社会
が進む中、本村でも、
平成22年度末の高齢化率は
24.5%となり、高齢者に対す
るサポートがクローズアップ
され、その対策は行政に課さ
れた大きな課題である。特に
車イスを使用する高齢者の村
外病院への通院の
場合、個人が所有
する乗用車だと、
床から車イス、車
イスから車へ、着
いた所で又車イス
と、それは大変な
重労働となり、一人でも世話を
することは容易なことではな
い。安全面を考えた場合、二
人がかかりで介護しなければ
ならない。そんな時、いつでも
利用できる車イス専用のリフ
ト付軽自動車に村に設置され

車イス専用のリフト付
軽自動車の配置について

村長／福祉協議会と十分協議をして
今後対応を考えていきたい

国にPRし、一人でも多くの
購買者に本村のセリ市に参加
してもらおうことが、畜産経営
の向上に繋がると思う。その
最大のPRチャンスが全国和
牛能力共進会での出品だと思
う。その出品者の手間ひまに
見合う報償金制度を創設し、
畜産農家の皆さんに良い牛を
育てる競争をしてみよう。そ
のことが畜産振興の発展に大
きく繋がり、畜産経営を魅力
ある仕事にすべきだと考える

ていれば助かると考える。こ
のことは、介護者の労働の軽
減にもつながるので、是非設
置していただきたいと思うが。

本村の高齢化率は、
平成23年11月末現在
26.4%と超高齢化社会へと進

んでいる。高齢福祉への要望
も高まり、地域に密着した形
でサービスが適正に提供でき
るよう、平成24年度に地域包
括支援センターを立ち上げ、
介護給付サービス、包括支援

介護の支援、外出支
援の事業が行われているの
は知っている。要介護者だけ
でない高齢者に対するサービ
スをしてほしいと。戦後ずっ
と頑張ってきたお年寄り、そ
ういう方々にも手軽に利用で
きたいかということ。

全国共進会への出品
者の手当等について
は、前回の実績では、旅費を
除き20村・JA伊江支店で支
度金として1万、県改良協会
からは8万7千円の支給が
あつた。報奨金制度の創設に
ついては、平成24年度予算、
積立金も含め、推進委員会で
出品農家の手間ひまに見合う
支給額を協議し、報償金制度
ではなく、手当・謝礼等で支

リフト付き軽自動車
の件については、3
年ぐらい前村内にいまする方
が、レンタカーの形でリフト
付を整備し、それを活用して
いただくため、チラシ等を配
付したいきさつもあるが、利
用者がそれほどいなかったと
いうこともある。今後、協議
すべきものは協議し、ベター

私がこれまでずっと
参加させていただ
いて、1世・2世のみなさんは
島を理解し、沖縄まで足を運ん
でもらうが、ややもすれば3
世・4世になると、島を忘れら
れる傾向にあるのではという感
じがしている。これからの伊江
島での交流大会を持つには、連
絡網をはっきりさせる、そう

世界のウチナンチュ大会 伊江島交流会について

総務課長／諸課題をクリアし、
村内の開催を検討していきたい

内田 竹保 議員



沖縄県が策定した
21世紀ビジョ
ン」の中で指針とされている
「世界に開かれた交流と共生
の島」の実現に向け、世界の
ウチナンチュ大会は、持続的
かつ発展的な交流を促進する
場として重要な役割を果たす
ことが期待されている。1世
紀を超える移民の歴史を経て、
3・4世の時代に突入し、次
世代の育成や交流が大きな課
題だと言われる。

このような中で今年、「第
5回世界のウチナンチュ大
会」が開催され、世界各地か
ら5,000名余が沖縄へ集

第5回目を迎えた今
大会は東日本震災災

の影響で参加者の減少が危惧
されたが、大会事務局や県
外・海外の県人会等関係者の
ご尽力で、海外から5,300
名余の参加者を迎え開催され
た。

「世界のイメージマンチュ交
流会」の現状だが、「世界の
イメージマンチュ交流会」と銘
打ってから開催したのは、前
回大会からであり、回を重ね
るごとにその規模、参加人数
を増やしている。去った月
日に那覇市内のホテルで開
催した今回の交流会は、海外
から名をはじめ、その関係
者や県内外の郷友会の代表者
を含め約100名が参加した。当
交流会も回を重ねるごとに参
加者が増えている現状にある。

村内で開催することにより、
故郷でのくつろいだ時間を設
けることができ、今以上に多
くの方々との深い絆が築いて
いけると思う。いくつかクリ
アすべき課題があるのも事実
だが、関係者と連絡を密にと
りながら、諸課題をクリアし、
村内開催を検討していきたい。

今回那覇市であった
交流会については、
限られた皆さんが伊江島から
の参加であり、これまで南米
移住各周年の記念式典や視察
等に、退任された多くの行政、
あるいは議会の先輩のみなさ



世界のイメージマンチュ交流会

村政の12月定例会一般質問

ここを問う！

青少年旅行村整備基本構想について

商工観光課長／事業が採択されたら農家の皆さんに説明と理解を得ていきたい

問

伊江村青少年旅行村整備基本構想について、昨年12月定例議会で説明があった。その中にはスポーツエリア、キャンプ場エリア、マリンスポーツエリア、森林エリア、またジョキングコースの設置などが計画されており、素晴らしい構想だと思う。なかでもスポーツエリアの400mトラックを擁した陸上競技場の設置計画は、多くの村民が待望していた施設だと思う。用地確保等多くの困難があると思うが、現在の進捗状況について伺いたい。

答

近年、特に23年度においては、小中学生及び一般の陸上競技大会において、優秀な成績をおさめたことや、少年野球及び中学生の北部地区優勝など目覚ましい活躍があり、村民一同喜んでいると同時に、より充実した施設の整備が望まれている。村



内間 広樹 議員

では、21年度に旅行村周辺整備基本構想図を策定、22年12月定例議会で基本構想図の説明、12月17日に振興計画審議会への説明、12月21日には、農業委員会において同様の説明をしている。審議会、農業委員会において、総合的なスポーツ施設整備構想についての賛同を得、24年度以降の北部振興事業に新規事業として要望している。そのうち農振農用地が約17,700㎡含まれており、除外手続き等は該当する事業の進展に合わせ、手続きを取りたいと考えている。

答

農家の皆さんの協力ができない。この事業が推進されていく中で、早くても採択されてから5年以上はかかるかと思われている。事業が採択された時点で農家の皆さんにも今後の計画を説明し理解を得、審議会それから農業委員会にも正式な申請をしていきたい。

紅イモ生産について

農林水産課長／JA・生産者とのような方向性で進めるか、今後協議したい。

問

現在村内において紅イモの栽培面積が増加してきているが、そのなかの多くは新規栽培農家である。栽培技術も手探り状態であり、病害対策や安定収量確保、品質の維持が求められ、また良質苗の確保も今後必要になってくる事が予想されるが、今後JAと協力しながら、栽培技術講習会の開催、良質苗（パイオ苗）の種苗圃の確保等の支援策が必要だと思うが、村当局の見解をお伺いしたい。

答

現在、JAのイモ部会の活動は平成19年度に活動を休止しており、ほとんどの農家が個人出荷となっている。タバコをやめた農家の7割近くは紅イモ生産に切り替えていることから、県普及課・JA等と連携を図りながら、栽培技術講習会を開催し、生産に取り組んでいきたい。また、良質苗の確保するための管理を、JA・生産者などのような方向性で進めるか、今後協議したい。

問

現在、紅イモがどれくらいどの面積で栽培され、出荷量がどのくらいか把握できていないと思う。現状の栽培規



答

担当に調査させたところ、面積は把握していない。去年の実績はある方が約150トン出荷されている。今後、村の計画をどういった形で進めていくかという点だが、現在JAのイモ部会が休んでおり、JAとも協議、相談等して今後に備えていきたいと思う。

障がいをもつ

役場職員の採用について

総務課長／総合的に勘案し採用を検討していきたい



問

「障がいの者の雇用の促進等に関する法律」で法定雇用率として、常用労働者数56人以上の企業は1.8%、国・地方公共団体は2.1%雇用することが定められている。先般、伊江村役場の職員採用の募集があったが、障がいの者の募集はなかった。法定どおりの雇用率にするためには障がいの者の採用もすべきだと思うが、障がいの者の募集をしなかったのはなぜか、2点質問したい。

ア・役場職員の定数と障がいの者の法定雇用者数は何人か

イ・障がいの者にも年齢制限が適用されるのか。

答

現在、村長部局職員は条例定数で137名、障がいの者の法定雇用者数の算定基礎となる人数は、村長部局で121名。121名から20%の除外率を引くと算定基礎人数は97名となり、法定雇用者数は2人になり、現在は達成している。また、年齢制限については、障がいの者についても一定の基準を設けるべきと考えている。

答

採用の計画等について、毎回、定員の管理について県のヒアリング等がある。そこで障がいの者の雇用率を満たしていない場合は、採用計画を求められるが、現在は満たしているため計画等は求められていない。なので採用計画を今は出していない。

問

障がいの者雇用促進法の第3章で、身体障がい者または知的障がい者の採用に関する計画を作成しなければならぬ、とある。この障がいの者に関する計画はつくられているのかうかがいたい。これがあつたら、今回の職員採用試験の際にも、障がいの者採用枠を設定すべきだと思うが。

答

採用の計画等について、毎回、定員の管理について県のヒアリング等がある。そこで障がいの者の雇用率を満たしていない場合は、採用計画を求められるが、現在は満たしているため計画等は求められていない。なので採用計画を今は出していない。

名嘉實 議員



答

本件については、3月定例議会後に建設

住宅リフォーム助成制度の創設について

建設課長／地域経済対策の趣旨も踏まえ、経済状況や財政状況を考慮しながら対応したい

問

3月定例議会で住宅リフォーム助成制度の創設について質問した。私の質問に対し、村長は、「リフォームに対する村民のニーズは高いと思う。その高いものをどのような村の財政等見比べて検討していくかということについては今私が、「はい、やります」と、今は言えない。内部でも十分調査検討しながら、今後に備えていきたい。」と述べられた。

答

まず、県内で実施している事例等を参考にしながら検討することが必要と考え、同助成制度を実施している沖縄市の実施状況や要項などを確認し、他市町村の動向も踏まえ、さらに村の経済状況や財政等を含め検討しているところである。現段階で決定に至っていないが、同事業の地域経済対策の趣旨も踏まえ、今後も村の経済状況や財政状況を考慮しながら対応したい。

問

この件についても、3月定例議会で質問した。質問後、飛行場の両端は雑木が除去され、見通しは良くなった。しかし、側溝の危険除去対策はまだなされていない。飛行場南端の大型側溝のふたかけもされていない。早急な対策が必要だと思うが、いつ頃工事は行われるのか。

米軍飛行場跡の側溝のふたの隙間の改修と飛行場南端の大型側溝のふたかけについて

農林水産課長／戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業により、今年度中に工事を施工する

業者3社による奉仕活動により、雑草、雑木の除去を行い見通しを良くした。ご指摘のふたの隙間の改修とふたかけについては、戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業により、今年度中に工事を施工する。工法は飛行場両側の側溝は、ふたの間の隙間を詰め、一定間隔でグレーチングを施工し、集水を図り飛行場南側開水路についてはふたかけを施行する。

村政の12月定例会一般質問

ここを問う！



仲宗根 清夫 議員

伊江村において企業誘致の計画はないか

政策調整室長／自然と暮らしの調和を踏まえつつ、企業誘致に関する調査研究をしていきたい

問

伊江村において製造業を含めた企業の誘致はできないか。関連して伊江島空港の利用方法も村当局の考えをお聞きたい。

答

本村は離島の地理的不利性を有する立地条件のため、もろもろの課題をいかに打破するか苦慮している状況である。しかしながら、地域活性化と雇用創出のためには、地場産業の育成と振興を図る事が重要であることから、特産品加工施設の整備や黒糖工場、新たな製造業としてラム酒の蒸留所の製造ラインが稼働している。地場産業については、地域資源を活用した特産品の開発、販路拡大を促進し、既存製造業の経

営の安定化と人材への支援施策を展開し、企業の促進を図っていきたい。企業誘致については、国・県の支援による情報通信の格差是正の取り組みや、ライフラインの整備を図り、地理的ハンデイの克服に努めるとともに、これまでの自然と暮らしの調和がはかられてきた土地利用の方向性を踏まえつつ、調査研究をしていきたい。

伊江島空港は既にご承知のとおり現在は定期便の就航はなく、アイラス株式会社がチャーター便の運航を行っているが運航実績は年々減少している。交通利便性の向上に伴い流通コストや利便性の面から考えて、空港利用は現在、価値が低いものと考ええる。

農林水産業の振興について

村長／第1次産業を核としている伊江村がより発展できるよう努力したい

問

東日本大震災後の農林水産業に対する打撃は、地理的なものもあると思うが、今後の村としての対応の状況をお聞きたい。

農林水産業の今後の村としての対応策については、戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業、キク再生産緊急支援事業、農林漁業セーフティネット資金事業等を進めているところである。水産業については、養殖漁業の方向性として、県の事業により流通の確保もでき、

答

タマン、ヤイトハタを出荷。モズクについては、フコイダンエキスを使用したモズクドリンクの新商品を開発しているところである。

答

いろいろな問題が目白押しにあるということも理解している。内部でもいろいろ検討し、常に村民が第一次産業を核としている伊江村がより発展できるよう努力していきたい。

問

いろいろ役場の方針を聞いて安心した部分もある。村長にお聞きしたいが、今年は特にいろんなことがあったが、伊江村全体の経済、楽しく過ごせるような伊江島にするために、いろんな事業というか、何か実行しないといけないのではないか。

21世紀ビジョンと一括交付金について

政策調整室長／一括交付金の実現に向け県と歩調を合わせて行動していきたい

問

平成21年6月8日、伊江村の市町村ワークショップにおいて、多くの人が現在の暮らしに満足していることや、住民が地域の良さを理解していることが象徴的だったという、県の見解がある。今現在、人口の減少傾向、雇用機会も少なく大変憂慮しているが、一括交付金制度も含めて村当局の考えをお聞きたい。

答

一括交付金制度は沖縄の柱として位置づけている、沖縄振興一括交付金の創設を国に求めているものである。県が策定した沖縄21世紀ビジョン基本計画で示した施策の展開に必要な財源として、3,000億円の確保を要望している。しかし、厳しい国の財政状況からして、高いハードルであることは認識

している。村としては、使途の自由度の高い沖縄振興一括交付金の実現に向けて、県と歩調を合わせ行動したい。また、沖縄振興一括交付金を最大限活用できるよう、全庁体制で地域課題を共有し、知恵を出し合い全力を挙げて取り組み、伊江村第4次総合計画の施策実現や、地域ニーズに即した事業の展開を図り、「互いに支え合い、誇りを持って、豊かな気持で暮らし続けられる村」の実現に取り組んでいきたい。

議決の結果

平成23年第13回定例会

議案番号	件 名	概 要	議決結果
報告第7号	西小学校校舎（西幼稚園園舎）改築・併行防音工事（仮設校舎）の専決処分の報告について	西小学校校舎（西幼稚園園舎）改築・併行防音工事（仮設校舎）の請負契約変更	報告
議案第78号	堆肥製造場建設工事（建築工事）請負契約の変更について	設計変更による契約金額の減額による	原案可決
議案第83号	財産の処分について	物件の表示:汽船 いえしま 処分先:愛媛県松山市南久米町635番地2／山下商店有限会社／取締役 山下美紀江／処分価格:1億2千万円	原案可決
議案第89号	西小学校校舎（西幼稚園園舎）改築・併行防音工事（建築）の請負契約の変更について	当初契約額:8億2215万円 変更による増額契約額:521万8500円	原案可決
議案第79号	伊江村税条例の全部を改正する条例	国の示している市町村条例（例）との整合性を図るための条例改正	原案可決
議案第80号	伊江村税条例の一部を改正する条例	本条例の全部改正に伴う一部改正	原案可決
議案第81号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	スポーツ振興法の全部改正によるスポーツ基本法の施行に伴う条例改正	原案可決
議案第82号	伊江村特定防衛施設周辺整備調整交付金基金に関する条例	特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を円滑に実施するため	原案可決
議案第84号	平成23年度伊江村一般会計補正予算（第6号）	歳入歳出予算額に173,818千円を追加し、歳入歳出予算総額を7,446,508千円とする。	原案可決
議案第85号	平成23年度伊江村診療所特別会計補正予算（第2号）	予備費の減額による補正	原案可決
議案第86号	平成23年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	主に積立金の減額による補正	原案可決
議案第87号	平成23年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出予算額に632千円を追加し、歳入歳出予算総額を58,898千円とする。	原案可決
議案第88号	平成23年度伊江村船舶運航事業会計補正予算（第1号）	主に固定資産売却益の増額に伴う補正	原案可決
決議第6号	田中聡前沖縄防衛局長の発言に抗議し、環境影響評価書の提出の断念を求める抗議決議	田中聡前沖縄防衛局長の発言に抗議し、環境影響評価書の提出の断念を求める抗議決議	原案可決

抗議決議

田中聡前沖縄防衛局長の発言に抗議し、 環境影響評価書の提出の 断念を求める抗議決議

去る11月28日、沖縄防衛局の田中聡前局長は、報道陣との懇談会の席で、普天間飛行場代替施設事業に係る環境影響評価書の提出期限を明言しない理由を問われたことに対し、「これから犯す前に犯しますよと言いますか」と性的暴行に例えた発言をしたことが報道で明らかになった。

非公式の席とはいえ、沖縄における防衛省のトップである沖縄防衛局長が、このような暴言とも言える人権感覚を欠いた発言をしたことは、県民と女性を侮辱し愚弄するもので、誠に許しがたい言動である。

沖縄は、国土の面積でわずか0.6%に過ぎないにもかかわらず、今もなお74%の在日米軍基地が集中させられている。そして県民は、米軍基地があるがゆえに、米兵による県民の尊い生命が奪われた事件・事故など、筆舌に尽くしがたい苦しみと痛み、そして人権蹂躪を戦後66年間も強いられている。

同前局長は既に更迭されたとはいえ、今回の発言は、県民感情を逆なでするだけでなく女性の人権を無視し、人間の尊厳を踏みにじるものであり、到底看過できるものではない。

さらに、政府は、謝罪し更迭した直後にもかかわらず環境影響評価書を提出すると明言しており、今後も沖縄に基地を押しつける政府・官僚の本音が見え、沖縄蔑視と差別意識を露呈しており、到底許されるものではない。

よって、本会は、怒りを込めて田中聡前沖縄防衛局長の発言に強く抗議し、防衛大臣の責任を明確にするとともに、環境影響評価書の提出を断念することを強く要求する。

以上、決議する。

平成23年12月14日

沖縄県伊江村議会

あて先 ●内閣総理大臣 ●防衛大臣
●内閣官房長官 ●沖縄及び北方対策担当大臣

議決の結果

平成23年第10回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案第68号	伊江村花き選別施設設置及び管理条例	村長	23年9月30日	原案可決
議案第69号	伊江村花き選別施設の指定管理者の指定について	村長	23年9月30日	原案可決
議案第70号	堆肥製造場建設工事(建築工事)請負契約について	村長	23年9月30日	原案可決
議案第71号	財産の取得について	村長	23年9月30日	原案可決

議決の結果

平成23年第11回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案第72号	真謝地区集会施設建設工事(建築工事)請負契約について	村長	23年11月11日	原案可決
議案第73号	伊江村特産品(さとうきび)加工施設建設工事請負契約の変更について	村長	23年11月11日	原案可決

議決の結果

平成23年第12回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案第74号	伊江村黒糖工場設置及び管理に関する条例	村長	23年11月22日	原案可決
議案第75号	伊江村黒糖工場の指定管理者の指定について	村長	23年11月22日	原案可決
議案第76号	伊江村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	村長	23年11月22日	原案可決
議案第77号	平成23年度伊江村一般会計補正予算(第5号)	村長	23年11月22日	原案可決



どうぞ
傍聴席へ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0980-49-2924 (直通)

